

本單元における「思考力・判断力・表現力」とは

本單元では、優れた叙述について自分の考えをまとめる力を高めるために、宮沢賢治作品の本を売り出すためのCM作りを行うという単元を貫く言語活動を設定し、学習を進めていく。ここでの思考力、判断力とは、宮沢賢治の作品から、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す表現や内容、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く感じさせる表現や内容といった優れた叙述を読み取り、それをどう活用すれば作品の良さを伝えるCMを作ることができるかを考える力である。また、表現力とは自分の伝えたい作品の良さを作品中の叙述を用いて、CMという形で表現する力である。

- 1 日時 平成24年9月12日(水)第5校時
- 2 学年 第6学年 男子19名 女子21名 計40名
- 3 単元名 優れた叙述について自分の考えをまとめる力を高める
～めざせベストセラー 宮沢賢治作品のCMを作ろう～
教材文「やまなし」(光村図書 6年 平成22年度版)

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語(平成20年)における第5学年及び第6学年の「C読むこと」の指導事項「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」を受けて設定した。宮沢賢治の作品のよさを伝えるCMを作ることを目的として、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す表現や内容、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く感じさせる表現や内容などに着目して読み、自分の考えをまとめることをねらいとする。

本教材文「やまなし」は、宮沢賢治が見た幻灯という設定の元、川底で暮らすカニから見た5月と12月の世界を描いた物語である。一読しただけではわかりづらいが、情景描写の美しさや、象徴性や暗示性の高い表現、独特の擬態語といった優れた叙述がちりばめられており、個々の解釈や味わい方ができる物語となっている。そのため、様々な視点に応じた優れた叙述をとらえることに適している教材であると考えられる。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまで本を紹介する広告カードやポスターを作ることを目的として、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえる学習はしてきた。しかし、優れた叙述について自分の考えをまとめることに関しては、学習経験が少ないうえに、優れた叙述に対するとらえもあいまいであり、自分の考えをもつまでに至っていない。その原因は、これまでの指導が、物語の内容を読み取らせることばかりにとらわれ、様々な視点から物語を読ませ、表現方法等に注目させてこなかったからであると考えられる。事前に行った、やまなしを一読し感じたことを書くという実態調査の結果を見ても、内容面の疑問が大半を占め、情景描写の美しさや象徴性や暗示性の高い表現に気付いた記述がみられた児童は20%であった。

(3) 指導観

本単元では、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す表現や内容、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く感じさせる表現や内容などに気付き、自分の考えをまとめることができるようにするため、次の2点に留意する。

1点目は、単元の指導計画を工夫することである。単元全体を貫く言語活動として、「C読むこと」の言語活動例「工 本を読んで推薦の文章を書くこと。」を基に考えた言語活動、「宮沢賢治の作品の良さを伝えるCMを作ること。」を設定する。CMは、短い時間の中で端的に伝えたいことを伝えなければならないという特性がある。そのため、自分が感じた作品の良さをCMに表すには、作品の中の表現や内容を端的に取り出し活用する必要がある。この言語活動を設定することにより、読む目的が明確になるとともに、自分が伝えたい作品の良さに応じた優れた叙述を抜き出し、自分の考えに応じて活用することができるようになると思う。

2点目は、様々な視点から「やまなし」を読ませることである。優れた叙述に気付かせるためには、物語の展開を追うだけでなく、様々な視点から作品を読み味わせることが必要であると思う。児童の書いた教材文「やまなし」の初発感想には、「情景描写が美しい」「独特の表現がある」「二つの季節の印象が違う」といったものがある。こういった叙述によってそう感じたのかを探ることを学習活動に仕組むことで、様々な視点から作品をとらえることができるようになるとともに、それぞれに応じた優れた叙述に気付くことができるようになると思う。

5 単元の目標

宮沢賢治の作品のよさを伝えるCMを作ることに関心を持ち、宮沢賢治の作品を繰り返し読もうとする。 【関心・意欲・態度】

宮沢賢治の作品のよさを伝えるCMを作るという目的に応じて、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す表現や内容、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く感じさせる表現や内容などに着目して読み、それらを用いてCMにまとめることができる。

【C読むこと工】

宮沢賢治独特の文章表現や、擬態語に対する感覚などについて関心をもつことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(力)】

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
言語活動例「工 本を読んで推薦の文章を書くこと。」		
CMで伝えたいよさを見つけ出すために、宮沢賢治の作品を繰り返し読んでいる。	自分が伝えたい作品のよさに応じて、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す表現や内容、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く感じさせる表現や内容を取捨選択し、CMの特性に合わせてまとめている。	宮沢賢治独特の文章表現や、擬態語に対する感覚などに気付いている。

7 指導と評価の計画(全 10 時間)

時	学習内容	評 価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 単元のめあて、学習計画を知る。 宮沢賢治作品のCM作りを行うことを確認し、CM作品例から、CMの構成要素、制作手順を確認する。 教材文「やまなし」を通読し、語句の確認をする。 				<p>CMを作ることに興味をもっている。</p> <p>新出漢字、難語句について理解している。</p>	ノート
2	<ul style="list-style-type: none"> 教材文「やまなし」を読む。 「5月」と「12月」の構成をとらえるとともに、それぞれの季節がどのような季節として描かれているか自分の考えをまとめる。 				<p>場面の移り変わりに注意しながら読み、それぞれの季節が象徴するものに対して自分の考えをまとめている</p>	発言 ノート ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> 「5月」と「12月」の情景を想像させる叙述を活用して、CM案を作成する。(本時) 				<p>象徴性や暗示性の高い表現や内容を活用して、CM案を作成している。</p>	
4	<ul style="list-style-type: none"> かのにの視点から見た川の中の様子を感じさせる叙述、宮沢賢治独特の表現方法について話し合い、CM案を作成する。 				<p>賢治独特の文章表現や、擬態語を見つけている。</p> <p>表現や内容を取捨選択し、自分が作りたいCMの特性に合わせてまとめている。</p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> 資料「イーハトーブの夢」を読む。 宮沢賢治の生き方や考え方を年表にまとめる。 				<p>宮沢賢治の生き方と作品が密接な関係にあることに気付いている。</p>	発言 ノート
7	<ul style="list-style-type: none"> 紹介したい本を選び、CMを作る。 自分が伝えたい作品の良さに応じて叙述を抜き出し、それを活用してCM台本を制作する。 台本を基にCMを制作する。 				<p>作品のよさを見つけ、そのよさを伝える作品中の表現や内容などに着目して読み、それらを用いてCMを制作している。</p>	CM台本 CM作品
8					<p>CMを制作するために、自分の選んだ本を繰り返し読もうとしている。</p>	
9					<p>賢治独特の文章表現や、擬態語をCMに使っている。</p>	
10	<ul style="list-style-type: none"> 出来上がったCMを交流するとともに、学習を振り返る。 				<p>互いのCMを鑑賞し、優れた叙述について自分の考えをまとめている。</p>	振り返りカード

1 時間目

(1) 本時の目標

宮沢賢治作品のCM作りを行うことを確認し、CM作品例から、CMの構成要素、制作手順を確認することでCM作りに対する関心を高めることができる。

(2) 本時の評価規準

CM作りに対して関心をもっている。

学習活動	指導上の留意点(・) 配慮を要する児童への支援()	評価規準 (評価方法)
<p>1 制作したCMを紹介する。</p> <p>先生がある作家の本を売り出すために、CMを作りました。ぜひ見てください。</p> <p>みなさんもある作家の作品をベストセラーにするつもりでCMを作ってみませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CMを見せることで、単元への関心を高めさせる。 ・宮沢賢治の作品を宣伝するCM作りを提案する。 	
<p>2 学習課題を提示する。</p> <p>~めざせベストセラー 宮沢賢治作品のCMを作ろう~ CMを作るために必要なことを考えよう</p>		
<p>3 CM制作に必要なことを出し合う。</p> <p>4 CM作品例を基に、どのようにCMが構成されているかを考える。</p> <p>CMをコマごとに分析し、どのような要素が盛り込まれているかを確認しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CM作りに必要な要素が盛り込まれたCMを分析させることで、CM作りに必要な要素に気付かせる。 ・実際にTVでも放送されたCM作品例も視聴し、同じような要素が入っていることに気付かせる。 	
<p>5 CM制作の過程をまとめる。</p> <p>CM制作するにはどのような手順が必要でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CM制作するには次のような過程が必要であることを確認する。 本をしっかりと読み、あらすじをつかむ。 作品のどこが魅力なのかを考える。 魅力を伝えることのできる文章を抜き出す。 場面絵を選ぶ。(もしくは描く) ナレーションを考える。 	
<p>6 今後の学習の見通しをもつ。</p> <p>作品の魅力を見つける読み方を「やまなし」を通して学んでいきましょう。</p>		<p>CMを作ることに関心をもっている。(振り返りノート)</p>

2 時間目

(1) 本時の目標

「5月」と「12月」の構成を場面の展開に即して読みながらとらえ、それぞれの季節がどのような季節として描かれているか、自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

「12月」の展開を構成表にまとめるとともに、どのような季節として描かれているか、自分の考えをまとめている。

学習活動	指導上の留意点(・) 配慮を要する児童への支援()	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。	・前時の授業を想起させる。	
「5月」と「12月」の構成をとらえ、それぞれどのような季節として描かれているかを考えよう		
2 本文を通読する。		
3 「5月」の構成を知る。	・「5月」の場面展開を構成表にまとめたものを提示し、構成表へのまとめ方をイメージさせる。	
4 「12月」の場面展開を構成表にまとめる。	・「12月」の構成表を、「5月」を参考にしながらまとめるよう指示する。 「5月」の構成表と対応させながらまとめることができるよう、ワークシートを工夫する。	「12月」の場面展開を構成表にまとめている。 (ワークシート)
5 「5月」と「12月」がそれぞれどのような季節として描かれているかを考える。	・構成表にまとめることで、感じた季節の描かれ方について意見を交流する。	
6 「5月」と「12月」の季節の描かれ方について、自分の考えをまとめる。	・自分の感じた言葉で2つの季節をまとめるよう指示する。	「5月」と「12月」の描かれかたに対して自分の考えをまとめている。 (ワークシート)
7 本時を振り返り、次時の学習活動を知る。		

3 時間目

(1) 本時の目標

「やまなし」の2つの季節にかくされたテーマを伝えるCM案を作成することを通して、情景を想像させる叙述に気付き、自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

情景を想像させる象徴性や暗示性の高い表現や内容を目的に応じて取捨選択し、CM案を作成している。

学習活動	指導上の留意点(・) 配慮を要する児童への支援()	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業を想起させる。 ・ 	
2つの季節にかくされたテーマを感じさせる叙述を使ってCM案を作ろう		
2 情景を想像させる叙述を活用して、CM案を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・CM案の条件を提示する。 (2つの季節にかくされたテーマを強調するCM案にすること・それぞれの季節からテーマを感じさせる最もふさわしい叙述を書き出して使うこと・6枚の画面に収めること) ふさわしい叙述を選ぶだけでできるように、CMの流れをある程度作成しているワークシートを配布する。 	自分の考えを明確にして、情景を想像させる象徴性や暗示性の高い表現や内容をCM案に活用している。 (ワークシート)
3 CM案をペアで交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・CMの流れとともに、どうしてその叙述を用いたのかを話すようにさせる。聞く側はその叙述が、目的にふさわしいものになっているかについて意見する。 	
4 CM案をクラス全体で交流し、テーマを意識させる叙述はどのような特徴があるかをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを感じさせる叙述は物語の中に無数に散りばめられてはいるが、最も意識させる叙述は、物語の「転」の場面にあることが多いことに気付かせる。 	
5 本時を振り返り、次時の学習活動を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は別の視点から「やまなし」の魅力にせまり、CM案を作成することを告げる。 	

4 時間目

(1) 本時の目標

かにの視点から見た川の中の情景描写の美しさを作品の魅力としてとらえたCM案を作成することを通して、情景を想像させる叙述に気付き、自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

情景を想像させる叙述を活用して、CM案を作成している。

学習活動	指導上の留意点(・) 配慮を要する児童への支援()	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。	・前時の授業を想起させる。	
<p>かにの視点からみた水の中の様子のえがき方を魅力として伝えるCMを作ることで優れた叙述に対する自分の考えをもとう</p>		
2 情景を想像させる叙述を活用して、CM案を作成する。	<p>・CM案の条件を提示する。 (かにの視点から見た川の中の様子の描き方が作品の魅力であることが伝わるCMにすること・6枚の画面に収めること)</p> <p>ふさわしい叙述を選ぶだけでできるように、CMの流れをある程度作成しているワークシートを配布する。</p>	
3 CM案をペアで交流する。	<p>・CMの流れとともに、どうしてその叙述を用いたのかを話すようにさせる。聞く側はその叙述が、目的にふさわしいものになっているかについて意見する。</p>	<p>自分の考えを明確にして、情景を想像させる表現や内容をCM案に活用している。 (ワークシート)</p>
4 CM案をクラス全体で交流し、川の中の様子を描いた叙述にはどのような特徴があるかをまとめる。	<p>・光を意識させるような。</p>	
5 本時を振り返り、次時の学習活動を知る。	<p>・次時は別の視点から「やまなし」の魅力にせまり、CM案を作成することを告げる。</p>	

ベストセラーにしたい作品名

カレーライス

この作品の主題・メッセージ

子どもは親の知らない間に成長しているんだ。

この作品の面白さ

お父さんはひろしのことを子どもだと思っていた。ひろしは大人に見てほしいという思いをカレーで表現している。

CMで伝えたいこと

カレーを通じた二人のやりとりが面白いので、それを伝えたい。

CMで使いたい表現

「特製カレーを食べれば、きげんも直るさ。」(父)

「またカレーなの。」(ひろし)

「おまえ、もう『中辛』なのか。」(父)

ぼくたちの特製カレーは、ぴりっとからくて、でもほんのりあまかった。



イメージ	絵	セリフ・ナレーション	効果音
ケンカの原因の様子。	悪いのは ぼく？ お父さん？	ナ「悪いのは、お父さんかぼくなのか。」	
お父さんの絵	「特製カレーを食べれば、きげんも直るさ。」	ナ「カレーで簡単に仲直りできると思った父。」	

ひろしの絵	「またカレーなの？」	ナ「カレーでは簡単に仲直りしない息子。」	
原作者の紹介	原作 重松 清	ナ「原作は、家族の様子を描いた作品を世に送り続ける重松清」	
カレーを食べる様子。	ぼくたちの特製カレーは、ぴりっとからくて、でもほんのりあまかった	ナ「お父さんウイークに繰り広げられる親子のケンカの結末は？」	
発売中の文字	小説「カレーライス」 発売中	ナ「重松清カレーライス 絶賛発売中」	

めざせベストセラー！ CM制作の流れ

CMを作りたい作品や筆者についてしっかり知ろう。



どんなあらすじなのかな。
何を伝えたい話なのかな。
どんなところが心に残るのかな。
どんな魅力がある文章なのかな。
どんな表現の特色があるかな。
筆者の人生と重ねて読むとどんなこと
が見えてくるかな。

なにを伝えたいのかはっきりさせよう。



選んだ作品のなにを一番アピールすれば
みんなが読みたくなるCMになるかな？

- ・ 作品がもつメッセージ
- ・ 作家独特の表現
(言葉づかいや情景描写)
- ・ 物語の展開の面白さ

伝えたいことに必要な文章を抜き出そう。



伝えたいことが決まれば、作品中のどんな
文章を引用するとより効果的か考えよう。
作品をしっかり読み返し、文章を見つけよ
う。

絵コンテ(CMの台本)をかこう。



どんな場面絵を使うとよいかな。
どんな文章をどこに書くといいかな。
ナレーションではなにを語ろうか。
どんなBGMがあうかな。

絵やキャッチコピーをかこう。